

学会事務局の変更について

日本放射光学会会長 石川哲也

日本放射光学会は、長年お世話になった有限会社ワーズの店じまいに伴い、本年3月から株式会社ポラリス・セクレタリーズ・オフィスに事務局業務をお願いすることになりましたので、謹んでお知らせ申し上げます。

ワーズの西野三和子社長には、日本放射光学会創設以来、約30年に亘って事務局業務をお願いしてまいりました。その責務を立派に果たされ、今日の日本放射光学会の隆盛の一端を担われたことに対し、日本放射光学会会員を代表して御礼申し上げるとともに、今後の益々のご健勝を祈念いたします。

新たに事務局業務をお願いすることになりました、ポラリス・セクレタリーズ・オフィスの笹部昌子氏には、ワーズの作ってくださった土台をしっかりと引き継いで、さらに発展させていただくことをお願いいたします。幸いなことに、ワーズで放射光学会のご担当であった佐藤さんがポラリス・セクレタリーズ・オフィスに移って引き続き放射光学会を担当していただけることとなりましたので、かなりの連続性は保てるのではないかと期待しております。

そうは申しましても、このような引継ぎ時にある種の混乱が生じることはありがちなことです。会員の皆様には、なにかとご迷惑をおかけする場面も皆無ではないと思われれます。そのような際にはご遠慮なく問題点を事務局あるいはお近くの学会幹事・評議員にお伝えいただけますと幸甚です。迅速な改善に努めてまいります。

本変更は、村上前会長、足立前庶務幹事等、前学会幹事会により準備が進められ、かなりの準備が整った段階で現執行部が引き継ぐこととなりました。多大なご尽力をいただきました前幹事会メンバーに深く感謝いたしますとともに、会員の皆様方には新しい事務局の立ち上がりを温かく見守って頂けますようお願い申し上げます。